

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	下水道 農業集落排水	事業番号、事業名	58 流域下水道				補助・単独別	補助	環境部 生活排水課		
番号	(ふりがな) 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	諏訪湖流域 下水道 (岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村・立科町)	計画処理能力 137,700m ³ /日 幹線管渠 L=55.5km 終末処理場 一式 [工期: S46 ~ H32]	白樺湖幹線 L=1.0km 水処理第1系列改築 汚泥処理施設(2号焼却炉)改築	白樺湖幹線 L=2.7km 水処理第1系列改築 耐震補強(下諏訪ポンプ場、沈砂池ポンプ場、放流ポンプ棟、管廊)	白樺湖幹線 L=7.3km 水処理4系列、2系列改築 汚泥処理施設(汚泥調整槽、脱臭施設、濃縮施設、溶融炉)改築	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	91.8%	計画どおり進んでいる。 処理場の施設設置を継続し、白樺湖幹線の本工事を推進する。 特記事項 H18再評価 処理人口等の見直しによる処理水量の減 6系列 5系列 汚泥処理施設(焼却炉、消化タンク、脱水機、機械濃縮機)の規模縮小 白樺地区、蓼科地区を流域下水道へ編入し、それに伴う幹線の追加 全体事業費 1048億円 1018億円 閉鎖性水域のため、諏訪湖浄化のための高度処理を実施し、下水道整備による水質保全の必要性が求められている B/C(費用対効果)=1.6 住民参加状況等 工事のために地元の理解が得られ、処理場周辺の環境整備に対して樹木の寄付等協力が得られている。	諏訪湖の水質保全を図るため、流域関連公共下水道の整備と整合を図り、計画的に施設の整備を行う。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」
2	千曲川流域 下水道 下流処理区 (長野市・須坂市・小布施町・高山村)	計画処理能力 87,000m ³ /日 幹線管渠 L=36.5km 終末処理場 一式 [工期: S60 ~ H30]	須坂幹線L=0.3km 水処理5系列施設増設 汚泥処理施設(2号焼却炉)	水処理1系列再構築 大室ネットワーク幹線L=0.5km 中央監視施設再構築	須坂幹線L=1.3km 水処理施設増設(6系列) 汚泥処理施設(消化槽、焼却炉等)	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	78.1%	計画どおり進んでいる。 水処理1系列再構築、中央監視施設再構築に着手する。 特記事項 H21再評価 処理人口等の見直しによる処理水量の減 7系列 6系列 16億円減 汚泥処理施設(消化タンク)の規模縮小 1億円減 全体事業費 750億円 733億円 処理水量の増加、水洗化が進展しているため水処理施設、汚泥処理施設の増設の早期完成が望まれる。 B/C(費用対効果)=1.5 住民参加状況等 工事のために地元の理解が得られ、ふれあいイベント等下水道事業の普及活動に協力が得られている。	千曲川の水質保全を図るため、流域関連公共下水道の整備と整合を図り、計画的に施設の整備を行う。	重要性が認められる。	「継続」
3	千曲川流域 下水道 上流処理区 (長野市・千曲市・坂城町)	計画処理能力 100,000m ³ /日 幹線管渠 L=48.2km 終末処理場 一式 [工期: H2 ~ H30]	汚泥処理施設(消化タンク)	主ポンプ5号建設 水処理6系列建設(機械電気) 水処理2系列受電設備 汚泥処理施設(消化タンク) 焼却炉2号建設(機械電気)	千曲川幹線 L=0.6km 水処理施設増設(7~8系列) 汚泥処理施設(消化槽、焼却炉等)	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	84.2%	計画どおり進んでいる。 水処理6系列、消化タンクの建設を推進し、焼却炉2号の建設に着手する 特記事項 H21再評価 処理人口等の見直しによる処理水量の減 10系列 8系列 21億円減 汚泥処理施設(焼却炉、消化タンク)の規模縮小 4億円減 全体事業費 907億円 882億円 処理水量の増加、水洗化が進展しているため水処理施設の増設と、長野市の処理場の汚泥を引き受けることによる汚泥処理施設増設が急務となっている。 B/C(費用対効果)=1.3 住民参加状況等 工事のために地元の理解が得られ、地震対策で施工予定の資材備蓄倉庫の建設に協力が得られている。	千曲川の水質保全を図るため、流域関連公共下水道の整備と整合を図り、計画的に施設の整備を行う。	必要性、重要性が認められる。	「継続」

(様式2B) 個別箇所評価総括表〔継続〕(要領第5の2(1)関係)

分野	下水道、農業集落排水	事業番号、事業名	58 流域下水道			補助・単独別	補助	環境部 生活排水課			
番号	(ふりがな) 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
4	(ふりがな) 摩川安曇野 流域下水道 (松本市・安曇野市)	計画処理能力 67,200(50,400)m ³ /日 幹線管渠 L=51.2km 終末処理場 一式 (工期:H3～H30)	水処理5系列施設増設 自動除塵機増設	管渠耐震対策 (マンホール浮上対策) 耐震補強(水処理施設、管理棟)	水処理施設増設(5～6系列) 汚泥処理施設(消化槽、焼却炉等)	必要性 B 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	67.6%	計画どおり進んでいる。 管渠、水処理施設、管理棟の耐震化に着手する。	摩川の水管保全を図るため、流域関連公共下水道の整備と整合を図り、計画的に施設の整備を行う。	重要性が認められる。	「継続」 「再評価」
		482億円	2億1340万円	1億2373万円	127億3580万円	特記事項 H22再評価 処理人口等の見直しによる処理水量の減 8系列 6系列 汚泥処理施設の規模縮小(消化タンク、脱水機、機械濃縮機) 全体事業費 525億円 482億円 耐震化が必要なため、管渠、水処理施設、管理棟の耐震工事の早期完成が望まれる。 B/C(費用対効果)=2.07 住民参加状況等 工事のために地元の理解が得られ、下水道放流施設(なじみ水路)の維持管理に協力が得られている。					
合計	4箇所	3115億円	43億9657万円	38億5975万円	506億584万円						